

# 27PB-am125S

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌における多剤排出遺伝子 *qacA/B* のサブタイプと消毒薬感受性の関連性

○佐々木 摩利<sup>1</sup>, 中南 秀将<sup>1</sup>, 高玉 駿介<sup>1</sup>, 輪島 丈明<sup>1</sup>, 野口 雅久<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京薬大・薬・病原微生物)

【目的】院内感染の主要な原因菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の感染予防策として、手指消毒が励行されている。しかし、近年、*qacA/B* などの多剤排出ポンプをコードする遺伝子を獲得し、消毒薬に低感受性を示す MRSA が分離されている。*qacA/B*にはサブタイプが存在するため、MRSA の詳細な消毒薬感受性を把握するためには、それぞれのサブタイプの保有状況を知る必要がある。本研究では、MRSA における *qacA/B* のサブタイプと消毒薬感受性を調査し、その関連性について研究した。

【方法】東京医科大学八王子医療センターにおいて、2011 年から 2015 年に分離された MRSA 1,151 株を使用した。*qacA/B* の検出は PCR 法により行った。*qacA/B* のサブタイピングは、PCR-制限酵素断片長多型法と DNA シーケンス法を用いて行った。消毒薬の感受性は、最小発育阻止濃度 (MIC) から判定した。

【結果・考察】*qacA/B* の検出率は、31%から 42%の間で推移していた。*qacA/B* のサブタイピングを行った結果、*qacA* 保有株の割合は、2011 年 (51%) よりも 2015 年 (77%) の方が有意に高かった ( $P < 0.001$ )。一方、*qacB* では主流のサブタイプ *qacBIII* 保有株の割合は、2011 年 (47%) よりも 2015 年 (14%) の方が有意に低かった ( $P < 0.001$ )。そこで、2011 年と 2015 年の *qacA/B* 保有株について、消毒薬感受性を比較したところ、ベンザルコニウムの 90% MIC (MIC90) は変動していなかったが、クロルヘキシジンでは MIC90 が 2015 年分離株の方が高かった。この結果は、MRSA におけるクロルヘキシジンの感受性が、*qacA/B* のサブタイプ保有状況の変化と関連していることを示唆している。

会員外共同研究者：藤井 毅 (東京医大八医セ・感染症科)